



彩の国埼玉県

つながる  
な

NPO

企業

地域団体

大学

# NPO協働事例集



埼玉県のマスコット  
「コバトン」



# 特別支援学校の生徒が Jリーグのユニフォームをクリーニング



NPO  
法人

コットンドリーム  
(志木市)

企業

株式会社モビメント  
(新座市)

和光特別支援学校に通う障がい児の保護者が、子どもたちが自立して生活できるグループホームづくりのためのNPO法人を設立した。レンタルユニフォームや洗濯代行を行う企業と連携して、大宮アルディージャのユニフォームの洗濯業務を受託し、障がい児が働く機会を提供している。

## 協働のきっかけ

大宮アルディージャからユニフォームの洗濯業務を請負ってきた企業の社長が、身内に障がい者がいることもあり、障がい児にも仕事を提供できないかと考えた。知り合いの福祉施設の関係者に協働できる団体がいないか相談したところ、NPO法人を紹介され、事業が始まった。

キーワード 就業支援

## 企業との協働 障がい者支援

### 協働のメリット

作業スペースや洗濯機材は企業が無償で提供。そのため、経費の負担がなく、働く人の人選や時間帯も、NPO法人に自由に任されているので活動がしやすい。

また、作業場が企業の中であるため、子どもたちが社会で働いているという意識を持てる。

さらに、活動が大宮アルディージャの選手の耳にも入り、選手の職場見学や交流が始まっている。



NPO  
法人

企業

働く機会が少ない重度の障がい児に仕事を提供することができて良かった。プロのサッカーチームのユニフォームの洗濯を通じて、彼らの成長に携われて嬉しい。

サッカーが好きになり、親子でスタジアムに足を運びチームを応援してくれ、オフィシャルスポンサーとしてありがたい。

### 苦労・工夫したこと

現在の作業場は、認可施設としての条件を満たしていないので、近い将来企業と相談の上、認可されるように改修したい。認可後は、助成金で障がい者の賃金や、作業のサポートをしてくれている学生、パートさんの賃金もアップできるようにしたい。

NPO  
法人

企業

重度の障がい児に洗濯業務ができるのかと保護者が不安を感じていたので、「子どもには自分のできることを精一杯取り組んでもらう。作業場に通うことだけでも仕事になるのではないだろうか。」と説明した。

作業は保護者にまず覚えてもらい、少しずつ障がい児に任せることにした。最近は満足できる仕上がりになってきた。